

初期仏教の実践と哲学思想の問題

=== 目次 ===

序	マインドフルネスは哲学なしでいいのか	1
第1章	ヴィパッサナー瞑想・初期仏教の哲学	3
第1節	東南アジア諸国に伝わるパーリ仏教 (3)	
第2節	三世実有・六道輪廻 (3)	
第3節	解脱・涅槃・悟り (4)	
第4節	僧侶の修行の進度・聖者に4段階 (4)	
第5節	無我・執着のないこと (5)	
第6節	ダルマの実体視 (5)	
第7節	五位七十五法 (6)	
	(表) 五位七十五法 (初期仏教) (7)	
第8節	四諦・八正道 (7)	
第2章	大乘仏教が批判した初期仏教の問題	9
第1節	大乘と初期仏教の違い (9)	
	(表) 大乘と小乗 (部派) の違い (9)	
第2節	大乘仏教のダルマ・五位百法 (10)	
	(表) 五位百法 (大乘仏教・唯識) (10)	
第3節	三世実有・法体恒有 (10)	
第4節	初期仏教には利他がないという批判 (11)	
第5節	まとめ (13)	
第3章	現代の仏教学、哲学からの批判	15
第1節	仏教学者・禅学者からの批判 (15)	
第2節	西田幾多郎による初期仏教批判 (17)	
第3節	他の哲学者からの問題指摘 (18)	
参照文献	(20)	